



画像：マスコットとビソー環境ロゴ



画像：ビソー環境本社

○本社所在地：愛知県蒲郡市
○事業概要：廃棄物収集・運搬業、内装工事業、解体業、不動産業

○常時使用する従業員：73人
(グループ全体・2025年2月期)
○現在の売上高：15.7億円
(グループ全体2025年2月期)
○法人番号：6180302009336
○Web：<https://biso-eco.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
金海 慶太郎

地域から愛され、地域に必要とされる企業を目指して

私たちビソー環境グループは、「地域から愛され、地域に必要とされる企業を目指して」という理念のもと、限りある自然を守り、持続可能な循環型社会の実現に挑戦しています。エコフィード製造や都市開発など新たな領域への挑戦を通じて、地域社会・お客様・社員の皆さまに貢献できる企業であり続けたいと考えています。この目標達成のため、グループ各社の強みを結集し、資源循環の仕組みや新たな価値を創造する事業を推進します。同時に、社員一人ひとりの成長と働きがい、待遇改善にも注力し、健康経営や女性活躍・両立支援など多様性を尊重した職場環境づくりにも取り組みます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年のグループ売上高100億円達成に向け、グループ内各社それぞれでエコフィード製造事業や新築工事業、都市開発事業への進出を行って100億円グループへを目指す。当社は都市開発から建設、アフターフォローまでを1グループで完結するようトータルコーディネートが出来る企業へと成長を目指す。

課題

- ・新規事業（エコフィード製造・都市開発）に集中投資する際に既存事業とのバランスを維持する必要性。
- ・既存の大手建設会社やリフォーム会社との価格競争回避。
- ・各社の経営理念を統合した「循環型社会貢献」というテーマの具体化。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・エリア唯一のエコフィード製造事業として2027年内を目標に新規工場の設立を行い、2034年までに2号機稼働を目指す。
- ・内装工事業を総合工事業へ発展させ、新築・増改築を含めたすべての工事をグループで行う。
- ・解体業から産廃が発生するためグループ内事業でも親和性のある都市開発事業へ乗り出す。
- ・当社が関わった土地で、関わった住居で、関わった食べ物で、1人の人生に都度都度関わる企業を目指していく。

実施体制

- ・グループ横断的なプロジェクトチームの設置や外部専門家の登用、段階的な投資計画の策定を実施。
- ・「100億宣言」支援制度を活用し、設備投資補助金や税制優遇を最大限に利用する体制整備のためグループ横断的なプロジェクトチームの設置や外部専門家の登用
- ・女性活躍や両立支援をはじめとした健康経営への取り組み強化によって新規採用・退職者抑制を実施。

売上高100億円実現目標とグループ体制

【コア事業のシナジー強化】

- ・廃棄物リサイクル連携システム①：ビソー環境の産業廃棄物収集運搬・処分業をさらに強化するエコフィード製造業への進出。収集した食品廃棄物をエコフィード原料に転用し、そのエコフィードを販売する。いずれ自社で農場経営や食肉加工工場を起し、その販売を行うスーパー等の小売業から廃棄物となったものを再度回収して循環させる「食の資源循環社会」を自社グループで構築していく。
- ・廃棄物リサイクル連携システム②：ビソーユニオンの解体工事や都市開発で発生する建築廃材・資材をグループ内で処理することで建設に関わる社内パイプラインを構築。解体で出る廃棄物、造成・開発で出る廃棄物、建設時に出る廃棄物、リフォームで出る廃棄物とすべてに廃棄物は関わってくるため当社グループひとつで全てをカバーできる。例えばビフォームのリフォームノウハウにビソーユニオンの解体技術を組み合わせ、廃棄物はビソー環境で処理することが可能であり、建物の部分改修から全面建替えまで対応する「ライフサイクル施工サービス」をも提供し、「建設での資源循環社会」を構築する。
- ・広告宣伝及び営業活動：BUZZにて自社の宣伝分野の他にデジタルサイネージを活用した自社宣伝＋他社宣伝の受注による広告代理店業も実施。ユニフォームやゴルフウェア、ビジネススーツ等のアパレル分野でも顧客に関わることが出来る。

